



平成 30 年 7 月 27 日

各 位

会社名 オーナンバ株式会社
代表者名 代表取締役社長 遠藤 誠 治
(コード番号 5816 東証第二部)
問合せ先 取締役企画経理部長 木嶋 忠 敏
(TEL. 06-6976-6101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 12 月期の決算発表時（平成 30 年 2 月 9 日）に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 30 年 12 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,500	百万円 300	百万円 300	百万円 150	円 銭 11.96
今回修正予想 (B)	17,700	240	240	70	5.58
増減額 (B-A)	200	△60	△60	△80	—
増減率 (%)	1.1	△20.0	△20.0	△53.3	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 12 月期第 2 四半期)	18,037	257	247	48	3.85

2. 修正の理由

平成 30 年 12 月期第 2 四半期(累計)の連結業績予想につきましては、売上高は、太陽光発電関連製品の売上の減少などがありましたが、自動車・産業機器用製品などの分野での製品開発・新規開拓の促進などの施策を進めた結果、ワイヤーハーネス部門・電線部門の売上は好調に推移し、計画を上回る見込みです。

利益面では、太陽光発電関連製品の売上の減少、在庫調整などによる品種構成の悪化、生産拠点の再編費用及び新興国の賃金上昇などによる生産コスト増加などがありましたが、ワイヤーハーネス部門・電線部門の売上高の増加、積極的な販管費の削減などにより、営業利益及び経常利益は前第 2 四半期連結累計期間なみに好転し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第 2 四半期連結累計期間を上回りました。しかしながら、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回公表予想を下回る見通しとなりました。

なお、平成 30 年 12 月期の通期業績予想数値につきましては、前回公表した業績予想を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

※ 当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上